

平成29年第8回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成29年8月30日(水) 午後2時00分

2. 招集場所 金成庁舎 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間八十公委員	2番	白鳥正文委員
3番	久我一仁委員	4番	千葉みどり委員

4. 説明のため出席した者

教育長	佐藤新一
次長	白鳥嘉浩
次長	小野寺一浩
教育総務課長	入野美奈子
学校教育課長	高橋久悦
学校教育課副参事	渋谷哲也
文化財保護課長	後藤孝義
教育研究センター所長	原吉宏

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 鈴木健

6. 開 会

午後2時00分

教育総務課長 本日の出席者は、教育長及び委員4名の出席でございます。教育長及び在任委員の過半数が出席しておりますので、会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

ただいまから平成29年第8回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。

それでは、開会の挨拶を教育長が申し上げ、その後、教育長の進行で会議を行います。よろしくお願いいたします。

7. あいさつ

佐藤教育長 皆さま、改めまして、こんにちは。今年の夏は梅雨明けとともに雨が続き、仙台で連続して雨を観測した日は36日でありました。これは、凶作による飢饉が起きた昭和9年を抜いて観測史上最長となり、米を始め農作物への影響が心配されます。そのような時に、昨日29日朝には、北朝鮮がミサイルを発射したことによる全国瞬時警報システム「Jアラート」が鳴り、皆さんも驚いたことと思います。市教委としては特に対応はありませんでしたが、この影響により、小学生1人が不安のため学校を休んでおります。夏休み中は大きな事故等の報告もなく、各小中学校では先週から1学期の後半がスタートいたしております。長期休業明けに自死の数が多いう傾向にあるということで、注意喚起をしたところであります。

さて、教育委員の皆さまには教育行政に関する意見にとどまらず、様々な事業にも関わっていただいていることに感謝いたします。青空大使派遣事業で講話をいただいたり、学力向上プ

プロジェクト事業における推進協議会や研修会にも参加していただき、一緒に行動する教育委員ということで我々としても感謝すると同時に一層の事業の充実に向けて気を引き締めているところでもあります。

話は変わりますが、ここ201会議室に「啐啄」と書かれた額縁がありました。今は教育長室にあります。これは禅の言葉で、「啐」とはひな鳥が卵の中から生まれ出ようと殻を突つこと、「啄」とは親鳥が外から突ついてそれを助けることであります。突つく時期は早過ぎてもだめ、遅過ぎてもだめで、その絶好のタイミング、絶妙なタイミングを啐啄同時、もしくは啐啄の機と言います。お互いが響き合うタイミングは、親と子の間にも、教師と児童生徒の間にも、行政と市民の間にもあります。褒めるタイミング、叱るタイミング、教えるタイミング、支援するタイミング、教育部としても事業効果の上がる絶好のタイミングで仕事を進めていきたいと思っていますので、それぞれの立場からご意見をいただければと思います。

今日は、日程1から9までございますが、審議のほどよろしく願い申し上げまして、あいさつに代えさせていただきます。

佐藤教育長 それでは日程に入る前に事務局より、議案追加の申し出があります。事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 日程9として、公民館の今後の在り方について、社会教育委員に諮問をしたいので、議案第41号栗原市社会教育委員に対する諮問についての追加をお願いいたします。

佐藤教育長 お諮りいたします。ただ今、申し出のありました、議案第41号栗原市社会教育委員に対する諮問についてを追加してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐藤教育長 異議なしと認め、事務局からの申し出のとおり、議案を追加します。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐藤教育長 はじめに、日程1、前回教育委員会会議録の承認についてでございます。

事務局に内容の説明を求めます。

事務局 平成29年7月19日、本会場において開催されました平成29年第7回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第35号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について」を含む2議案でございますが、全て承認可決されました。

以上でございます。

佐藤教育長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等はございませんか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐藤教育長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

4番の千葉委員と1番の笠間委員をお願いいたします。

10. 教育長報告

佐藤教育長 次に、日程3、教育長報告を行います。

まず、7月定例会以降の対応事業ですが、詳細につきましては資料をご覧くださいと思います。主な事業ですが、8月1日から2日の山崎武司杯ですが5チーム参加し栗原選抜は第3位でした。青空大使派遣事業は終了しておりますが、報告会と解団式が9月10日(日)午後3時から本庁講堂で行われます。夏季休業中の学力向上に向けた取り組みについては資料のとおりでございます。瀬峰・高清水中学校再編に係る地域説明会は、8日に瀬峰地区(参加22名)、9日に高清水地区(参加30名)で行い、いずれの地区も合意をいただきました。説明会では、安全な通学路の確保、教育環境の整備、教育活動の充実等の要望がございました。昨日29日には県教委・市町村教委圏域別教育懇話会が登米合庁であり白鳥委員と2人で行ってききましたが、内容は、安全・安心な学校づくりに向けての意見交換が主でした。全国中学校体育大会は九州で行われ、野球は金成中、剣道男子団体が若柳中、相撲団体と個人が栗駒中、ホッケー女子の築館中が会場、相撲団体とホッケー女子が3位という素晴らしい結果でした。合宿支援事業補助金対象は立教大学女子ホッケー部、横浜市立大学女子ホッケー部、武蔵大学男子ホッケー部の3件でした。みやぎヘルシー2017ふるさとスポーツ祭栗原地区大会は小雨ということで中の競技だけ行いました。栗原市民まつりも盛大に開催されております。

次に、栗原地区生徒指導状況ですが、資料2ページになります。特に、中学校で長期欠席が増えています。いじめにつきましても多くなっていますが、これは毎月子どもたちにアンケートをとっており「悪口を言われた等」全て計上しているためです。それから夏季休業中、児童生徒の万引き、教職員の追突事故や一時停止違反がありました。

また、各種県教委事業への参加ですが、県算数チャレンジ大会に16チームが参加し、築館小の2チームが9月10日の本戦に進みました。科学の甲子園ジュニア県予選には栗駒南小が出まして2位になっています。みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクールでは鶯沢小が優秀賞、Web長なわ八の字跳び大会でも鶯沢小が5位に入っております。

管理職等候補者選考は、校長8人、教頭36人、主幹教諭25人が受けています。公立学校教員採用候補者選考は別紙のとおりです。最後に、9月定例議会は9月12日からとなります。

以上で報告を終わります。何か、ご質問はありませんか。

笠間委員 みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクールの作品は、私たちも何かで見ることができるのでしょうか。

佐藤教育長 まだホームページにアップされていませんが、出展した控えはございます。

笠間委員 教育事務所の生徒指導だよりの中に運動会総練習中に将棋倒しで転倒し左鎖骨骨折とありますが、どのような状況だったのでしょうか。

小野寺次長 教育事務所に確認しておきたいと思います。

笠間委員 同じく資料の中で授業抜け出し62件、授業妨害22件とありますが、高清水小と宮野小の割合はわかりますか。

佐藤教育長 授業抜け出しは高清水小60件、宮野小2件。授業妨害は高清水小20件、宮野小2件でございます。

小野寺次長 宮野小は去年多かったのですが、クラスを2つに分けて少人数で指導する体制を拡充していくなどの工夫をした結果、改善が見られております。その経験を踏まえ高清水小でも対策を講じて参ります。

白鳥委員 いじめの状況ですが、当月に認知した事案で鶯沢小が40件と多くなっていますが大丈夫でしょうか。

小野寺次長 3ページに鶯沢小の「学校いじめ防止基本方針の概要」がございます。鶯沢小の校長先生は

義務教育課から来た先生でいじめ対策の先頭に立っていた方です。校長先生は子どもたちに「いじめ」を分かりやすく説明し、子どもたちはどんな些細なことでも「いじめ」として捉えているため今回の数字となりました。これは、良い意味で子どもたちのいじめをなくそうとする意識が高まっているものと受け止めております。

久我委員 長期欠席が中学校2年生で昨年の倍位になっていますが、現状の把握と対策はどのようになっていますか。

小野寺次長 今回は夏休み中から家庭訪問等の対策を講じていただくよう各学校にお願いしているところです。また、学校現場でも何が原因で増えているのか先生方で話し合い、その対策も検討いたしております。今後とも学校と市教委が共通理解を図りながら対策をとっていきたいと考えております。

佐藤教育長 他にご質問ありませんか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 ご質問がないようですので、これで教育長報告を終わります。

11. 専決処分報告

佐藤教育長 次に、日程4専決処分報告です。

(1) 栗原市教育委員会外国青年招致事業員の設置等に関する規則の制定について内容の説明をお願いします。

学校教育課長 議案書1ページをお開き願います。専決処分報告栗原市教育委員会外国青年招致事業員の設置等に関する規則の制定について、平成29年7月1日施行、栗原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に伴い、栗原市教育委員会外国青年招致事業員の設置等に関する規則の制定について、専決処分を行ったので報告する。平成29年8月30日提出、栗原市教育委員会教育長佐藤新一。今回の規則の制定につきましては、平成29年7月1日施行の栗原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に伴い、外国青年招致事業員に関する勤務条件等について、新たに規則を制定したものであります。議案書2ページをお開き下さい。第1条は本規則の趣旨でございます。本規則の趣旨につきましては、栗原市教育委員会における外国青年招致事業員の設置等に関し必要な事項を定めるものであります。第2条は、職務の規定であり、外国語指導助手及びスポーツ国際交流員の職務内容を定めたものであります。第3条は、任命の規定であります。第4条は、定数の規定であり、外国語指導助手は10人以内、スポーツ国際交流員は2人以内としております。第5条は、身分の規定であります。第6条は、任期の規定であり、任命の日から1年間としておりますが、5年を超えない範囲内で更新することができるとしております。第7条は、服務規程であります。第8条は、勤務時間等の規定であります。第9条は、報酬及び費用弁償の規定であります。第10条は、解職の規定であります。第11条は、災害補償の規定であります。第12条は、委任規定であります。5ページをお開き下さい。別表第1であります。この表は、第9条第2項の規定に基づく、勤務しなかった日がない場合の報酬の月額についての規定であります。6ページをお開き下さい。別表第2であります。この表は、第9条第2項の規定に基づく、勤務しなかった日がある場合の報酬の月額についての規定であります。4ページにお戻り下さい。附則、本規則の施行期日を、平成29年7月1日から施行とするものであります。以上、専決処分の報告をいたしますので、ご承認賜りますよう、お願い申し上げます。

佐藤教育長 説明が終わりました。ご質問ありませんか。

久我委員 スポーツ国際交流員は、今現在いるのですか。
学校教育課長 まだ、採用には至っておりません。
白鳥委員 栗原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に伴って
ということですが、5ページに報酬はありますが費用弁償の部分がないので、どのように解釈
したらいいのでしょうか。
学校教育課長 これまでの栗原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の中には、
外国青年招致事業員のことは明示されておらず、JETプログラムに則って運用してきており
ます。今回は条例に明示したことによるものです。なお、外国語指導助手につきましては報酬
のみの対応となります。
佐藤教育長 他にご質問ありませんか。
「なし」の声あり
佐藤教育長 ご質問がないようですので、専決処分報告を終わります。

12. 議事

佐藤教育長 ここで、日程5及び日程6の審議についてお諮りいたします。日程5議案第37号要保護及
び準要保護児童生徒の認定について及び日程6議案第38号栗原市就学指導委員会専門委員の
人事については、個人情報を取り扱うものに関しては審議の内容を非公開とすることとなって
おりますので、秘密会としてご審議いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

佐藤教育長 ご異議なしと認め、日程5議案第37号要保護及び準要保護児童生徒の認定について及び日
程6議案第38号栗原市就学指導委員会専門委員の人事については、秘密会とします。

佐藤教育長 ここで、秘密会の取り扱いを終了いたします。

日程7議案第39号栗原市就学指導委員会に対する諮問についてを上程します。内容の説明
をお願いします。

学校教育課長 議案書15ページをお開き願います。議案第39号栗原市就学指導委員会に対する諮問につ
いて、栗原市就学指導委員会条例（平成17年栗原市条例第104号）第1条の規定により、
別添のとおり諮問する。平成29年8月30日提出、栗原市教育委員会教育長佐藤新一。本議
案につきましては、栗原市就学指導委員会条例第1条の規定に基づき、16ページの諮問文の
案のとおり、栗原市教育委員会教育長から栗原市就学指導委員会会長に諮問するものであり
ます。本日、お渡ししておりますマル秘資料1「平成29年度就学指導を要する児童生徒名簿一
覧表」の1ページをご覧ください。平成29年度におきまして、各学校より提出された就学指導
を要する児童生徒数は、小学校で65名、中学校で49名の、合計114名です。言語通級等
につきましては、9月4日が提出期限となっており、8月28日現在の人数となっております
ので、ご了承いただきたいと思えます。これらの児童生徒について、就学指導委員会に諮問す
るものであり、対象児童生徒の状況につきましては、2ページ以降の一覧表のとおりでござい
ます。なお、この資料につきましては、個人情報になりますので、会議終了後、回収させてい
ただきます。よろしくお祈りいたします。今後の、就学指導委員会等の開催予定につきま
しては、先ほどもお話ししましたが、定例会資料3ページのとおりとなっております。以上、よ
ろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

佐藤教育長 説明が終わりました。議案についてご質問ありませんか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 ご質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐藤教育長 ご異議なしと認め、日程7議案第39号栗原市就学指導委員会に対する諮問については、原案のとおり可決いたします。

 日程8議案第40号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出についてを上程します。内容の説明をお願いします。

教育総務課長 議案書17ページをお開き願います。議案第40号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、平成28年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施したので、別紙のとおり栗原市議会へ報告書を提出することについて承認を求める。平成29年8月30日提出、栗原市教育委員会教育長佐藤新一。お配りしている「点検及び評価の結果報告書」1ページをご覧ください。はじめに(1)の趣旨につきましては、記載のとおり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」により実施し、点検評価を行うことにより、教育行政の課題や取組みの方向性を明らかにするものがあります。なお、作成した報告書は市議会に提出いたします。市議会への提出にあたり、教育委員会の承認を求めるものでありますので、よろしく願いいたします。次に、(2)の知見の活用につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第26条第2項に、点検評価を行うに当たっては、学識経験者の知見の活用を図ることと規定されておりますことから、宮城教育大学の吉田剛先生並びに小塩さとみ先生にお願いし、ご意見をいただいております。事業ごとに意見をいただいておりますが、総評として、具体的施策ごとに、意見をいただいております。また、その意見をもとに、市教育委員会としての今後の方向性を、具体的施策ごとに整理し、記載しております。それでは、具体的施策ごとにいただいた意見を基に作成いたしました、今後の方向性について、ご説明いたします。43ページをご覧ください（43ページ以降朗読説明、省略）。以上が議案第40号の説明です。よろしく願いいたします。

佐藤教育長 説明が終わりました。議案についてご質問ありませんか。

笠間委員 43ページの事業No6からNo11のところでは学校や教員への過剰負担が生まれていないかというご意見がありますが、これに対する市教委の考えがあった方がいいと思います。それから、17ページですが英検は全員受けるわけではないので指標としてはどうかと思います。それよりも英語が好きになったかどうかを指標にした方がいいのではないかと思います。

佐藤教育長 来年度へのご意見ということでよろしいでしょうか。

笠間委員 はい。

佐藤教育長 他にご質問ありませんか。

千葉委員 大仙市の研修の成果を今後どのように波及させていくのでしょうか。

小野寺次長 学力向上推進協議会では、授業づくり、家庭学習のあり方などを取り入れていこうということで話し合われました。指定地区の栗原西中学校区では、大仙市で行っていたノートによる教材研究を始めようということになりました。今後も学力向上推進協議会、大仙市派遣教員による授業公開等で大仙市での研修の成果の共有を図り波及させていきたいと思っております。

白鳥委員 44ページに「自死に対する正しい理解」とありますが、自死を肯定しているかのように捉えられる可能性があるのでは、例えば「自死の防止対策に努める」等に修正した方がいいのではないのでしょうか。それから、昨日の朝Jアラートが鳴りましたが、もし学校にいるときに鳴った場合の対応や対策も検討していただきたいと思っております。

小野寺次長 9月7日に学校長会議がありますが、平日の校内にいる場合と校外にいる場合、それから休日や夜間の場合どうしたらいいのか、今後検討していきたいと思います。

白鳥委員 過度に子どもたちを不安にさせないように注意しながらお願いいたします。

佐藤教育長 白鳥委員から話があった自死のところは、表現を検討いただきたいと思います。他にご質問ありませんか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 ご質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐藤教育長 ご異議なしと認め、日程8議案第40号教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出については、原案のとおり可決いたします。

日程9議案第41号栗原市社会教育委員に対する諮問についてを上程します。内容の説明をお願いします。

白鳥次長 追加議案書1ページをお開き願います。議案第41号栗原市社会教育委員に対する諮問について、社会教育法第17条第1項第2号の規定により、別紙のとおり栗原市社会教育委員に諮問する。平成28年8月30日提出、栗原市教育委員会教育長佐藤新一。資料2ページをお開き願います。諮問の(案)でございます。宛名は、栗原市社会教育委員会議委員長殿であります。案件は「栗原市公民館の今後のあり方について」、諮問事項は、現在、市内に21館ある公民館を各地区(旧町村)1館に集約し、公民館として利用しない施設は地域コミュニティ組織の活動拠点などとして活用するよう検討する。理由は、(1)ネットワークや図書機能の充実などにより学習機会や情報提供機能を拡充し、学習できる公民館とし機能の充実を図る。(2)各地区における公民館の配置について平準化を図るです。資料の4ページをご覧ください。公民館につきましては、現在、市内に21施設ございますが、網掛けしている10施設に集約しようとするものです。現在、社会教育課の主催、共催事業として主に活用しておりますのは、各地区の中心的な位置に存在する公民館であります。例えば、若柳地区であれば、主に若柳公民館を利用して社会教育事業を実施しております。一方、その他の有賀、畑岡、大岡公民館につきましては、主にその公民館が所在する地域で活用されている状況にあり、市の社会教育のための施設というよりは、地域活動の拠点施設としての役割を果たしているといえます。また、現在市内では、複数の公民館がある地区と、公民館が1か所のみで、地区間で違いが生じております。こうしたことから、教育委員会としましては、パソコンなどの高度情報通信ネットワークや図書室の充実などを行いながら、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」学習できる公民館として、各地区1施設に集約してまいりたいと考えております。また、各地区1ヶ所の公民館につきましても、建築から40年以上経過している施設が、5施設あり、改修や改築が必要となっており、市の総合計画等に基づき整備してまいります。一方、公民館から外れる施設につきましては、施設周辺地域のコミュニティセンターとして活用することを念頭に地域に説明してまいりたいと考えております。近年、地域の課題や市民のニーズの多様化に対応するため、地域と行政が協働する「地域協働型」のまちづくりが大切になっており、市といたしましても、コミュニティ組織の育成を推進することとしており、公民館をコミュニティセンターとして、有効に活用してまいりたいと考えております。コミュニティセンターは、市民や自治会、各種団体など多くの人の集いの場にするとともに、共に考え支え合うための活動拠点への移行を目指してまいります。今後は、市民協働課や閉校施設もあるので管財課などと連携を取りながら進めてまいります。なお、この件につきましては、平成27年に社会教育委員

の会議でご説明し、委員の皆様にご協議していただき、ご理解をいただいておりますが、今回、改めて諮問し、答申をいただくものでございます。公民館から移行する期日につきましては、各地区で説明会を開催し、市民の方々にご理解をいただいた後に移行することになります。以上、ご提案いたしますので、よろしくご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。

佐藤教育長 説明が終わりました。議案についてご質問ありませんか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 ご質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐藤教育長 ご異議なしと認め、日程9議案第41号栗原市社会教育委員に対する諮問については、原案のとおり可決いたします。

13. その他

(1) 各課報告

佐藤教育長 本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。事務局に報告を求めます。

教育総務課長 定例会資料1ページをご覧ください。学校再編に係る地域説明会の結果及び今後のスケジュールでございます。先程、教育長からも報告がありましたが、高清水中学校と瀬峰中学校の学校再編について、地域との意見交換会を開催し、意見集約を行ったところ両地区とも「再編に合意」となりましたので報告します。瀬峰地区は8月8日に行い22名の参加でした。主な意見としては①再編には賛成だが、通学路に関して子供たちが事故なく通学できるよう県道1号線の道路の拡幅、歩道の整備、防犯灯の設置等、安全な通学路の整備を要望する。②賛成するが、使用する校舎の老朽化が激しいのでリフォームを要望する。また、駐車場のスペースが足りないと思われるので、駐車場の確保をして欲しい。③子供たちがよりよい環境で学習できるよう整備して欲しいというものでした。高清水地区は8月9日に行い30名の参加でした。主な意見としては①保護者と児童生徒の思いを受け止めれば賛成であり、地域の者が反対すべきでないとする。しかし、歴史ある学校がなくなることも地域にとっては大変寂しい限りで、苦渋の判断。②孫たちのことを考えれば賛成。しかし、通学路となる県道1号線を安全にして欲しい。スクールバスに乗れば済むということではなく、自転車通学する生徒もいるはず、整備について県に強く働きかけて欲しい。③賛成するが、再編校には不安な部分も多い、再編して良かったと思えるよう、より良い学校にして欲しい。④スクールバスの通学支援がいつまで続くか保証が無いので、不安であるため、賛同しかねる。議論を続けた方が良いなどでした。今後のスケジュールですが、今年10月に再編準備委員会を設置し、校名、校歌、制服等の各種協議をしていき、平成31年4月の開校となります。以上です。

学校教育課長 資料6ページでございます。最初に、「英語でチャレンジ」実施報告についてであります。7月31日、この花さくや姫プラザにおいて実施いたしました。3年生～5年生までの40名から応募があり、当日は39名の児童が参加しました。7ページの成果・課題等につきましては、後ほどご覧頂きたいと思いますが、終了後のアンケート結果には、とても楽しく活動することができ、来年も参加したいとの意見がありました。また、活動内容については、ALT1名に対して、6～7名の児童のグループでカルタ取りや簡単な料理などの活動をとおして、ALTと十分に関わることができ、児童は英語に慣れ親しむことができたようです。資料8ページでございます。次に、「英語でキャンプ」実施報告についてであります。8月3日から4日の1泊

2日の日程で、国立花山青少年自然の家にて実施いたしました。15名の募集に対して、13名の5年生と6年生が参加しました。終了後のアンケート結果をみると、参加した児童は、とても楽しく活動することができた、英語でのコミュニケーションについても、「上手にできた」、「まあまあできた」と児童全員が回答しているように、どの児童も英語に対する関心・意欲が高く、ALTとも積極的に関わろうという姿勢が見られました。本来のねらいである「積極的に英語でコミュニケーションを図る」ことに重点を置いて実施したことにより、全員の児童が2日目には、自己紹介と2日間の感想を英語で発表できるようになりました。また、多くの時間をALTと関わることで、自然に英語に慣れ親しむことができ、達成感や充実感を味わうことができたことが同われ、初期のねらいは達成できたものと思われます。また、達成感や充実感を味わえたことで、今後の英語の学習に向けての意欲の高まりなども見受けられました。資料10ページでございます。次に、「平成29年度学び支援コーディネーター等配置事業学府くりはら塾「夏休み学習会」についてであります。今年度も、学習習慣の形成、基礎的・基本的学習内容の定着、活用する力の育成等を通じた学力のレベルアップを図ることを目的に、8月8日から10日までの3日間の日程で、栗原市文化会館と栗原市教育研究センターを会場に開催し、小学校3年生から6年生まで114名の申込がありました。指導者は、教職員経験者の学び相談員18名の外、学び支援員として、宮城教育大学の学生の12名の協力も受けています。昨年度と同数の相談員を確保でき、相談員一人当たりの児童数が6.3人、支援員を加えると3.8となり、児童一人ひとりに丁寧で厚い支援を行うことができたことで、学習に集中して取り組む姿が見られ、子どもたちからも集中して取り組めたという充実感を味わえたという感想が多く寄せられました。資料12ページでございます。「平成29年度全国中学校体育大会結果について」であります。教育長の報告にもありましたとおり、今年度の全国中学校体育大会には、市内の中学校4校の生徒が4種目の競技に出場いたしました。結果は、築館中学校女子ホッケー部及び栗駒中学校相撲部の団体が全国第3位という輝かしい結果を収めております。詳細な大会結果につきましては、資料のとおりであります。以上でございます。

社教課佐藤補佐 資料13ページ、平成29年度市民運動会についてであります。開催日は全て9月3日(日)で各地区の時間、会場は資料のとおりでございます。以上です。

学校教育課長 本日配布の定例会資料(追加)をご覧ください。資料1ページでございます。「平成29年度全国学力・学習状況調査結果について【速報値】」についてであります。今年度は、4月18日(火)に市内小学校6学年494名と中学校3学年555名を対象に、国語、算数・数学と生活習慣や学習時間に関する質問紙の調査を実施しました。5の結果分析ですが、まず、(1)の教科に関する結果につきましては、小学校・中学校ともに、主として知識を問う基礎・基本のA問題と活用する力を問うB問題があり、小学校は、国語Aが全国平均正答率と同等で、国語B、算数A、算数Bは全国平均正答率を下回るものの、差異は小さいと言えます。下の表2の平成28年度の結果と比較すると、4科目とも全国平均正答率との差はほぼ同じでした。中学校は、数学が全国平均正答率よりA問題でマイナス10ポイント、B問題でマイナス8ポイントと乖離が大きい結果となりました。表2の平成28年度の結果と比較すると、数学についてはA問題・B問題ともに全国平均正答率との差はほぼ同じでしたが、国語Bで差が縮まりました。

(2)の生活習慣や学習時間に関する結果につきましては、家庭でのテレビ、DVDの視聴や携帯電話・スマートフォンの利用などの生活習慣や家庭学習の時間は望ましい方向に向かっていと捉えております。6の今後の対策といたしましては、今回の調査、市独自のNRT学力調査、家庭学習調査等の結果を関連させて市教育委員会と各学校で分析し、課題を明確にし、

対策を講じることとしております。各学校で対応を講じる際は、学力向上対策プロジェクト事業で本年度より立ち上げた「学力向上研究推進協議会」において、学力向上研究指定校の取り組みの成果や先進地派遣教員の研修成果を市内全小中学校で共有し、各学校での授業づくり、家庭学習指導、授業外の指導の工夫改善を図る等、市内小中学校が一丸となって、より良いものを取り入れていくこととします。また、中学校の部活動については、原則として平日から1日以上、土日から1日以上を休養日に充てるなど、適切な休養日設定を行うようにし、学力向上と体力向上の調和のとれた生活習慣を目指してまいります。資料2ページ、平成29年度全国標準学力検査NRT結果でございます。平成29年度は、4月下旬に市内の小学校2年生から6年生2,438名、中学校1年生から3年生1,569名が受検しました。検査を実施した教科は、小学校2、3年生は国語・算数の2教科、小学校4、5、6年生と中学校1年生は国語・社会・算数・理科の4教科、中学校2、3年生は国語・社会・数学・理科・英語の5教科です。この学力検査NRTは、平成25年度から市内全小中学校で実施しているもので、学力の変化をみることができます。なお、NRTは、昭和25年に刊行されたもので、我が国で最も多く実施されている標準学力検査です。また、表中の偏差値とは、受検者全体の中でどれ位の位置にいるかを表したもので、平均値が50となります。また、標準偏差は10が正規分布となります。その標準偏差についてですが、データの散らばり具合を表す数値です。例えば、ある試験でクラス全員が同じ点数、すなわち全員が平均値の場合、データにはばらつきがないので、標準偏差は0となります。つまり、この数値が高ければ高いほどばらつきがあり、低ければ低いほどばらつきがないということになります。栗原市全体の状況について説明いたします。まず、小学校についてです。小学校は全体で偏差値が50.9と、昨年度の50.6から0.3ポイント上がっています。学年ごとに見ますと、2年生が0.2ポイント、4年生が1.3ポイント、6年生が0.9ポイント上がっております。変化がなかったのが、3年生の51.3、下がった学年は、5年生で0.8ポイント下がっています。中学校は全体で偏差値が47.7と、昨年度の47.3から0.4ポイント上がっています。学年ごとは資料のとおりです。全体的な傾向としては、①小学校においては、国語・算数ともに、全ての学年において平均を上回っております。中学校においては、1年生国語のみ平均を上回っております。②中学校において数学は、学年が上がるにつれて偏差値が下がっていく傾向にあります。5教科合計についても同様のことが言えます。③算数・数学については、学年が上がるにつれて標準偏差の値が小さくなっていく傾向にあります。次に、資料3ページをご覧ください。「平成29年度もっと学びたい子どものための学府くりはら塾」についてであります。本事業は、今年度で、10回目の開催となります。中学生を対象に、夏休み前に学習した国語、数学、英語の3教科について、宮城教育大学の学生が講師となって、生徒が抱える教科の課題や弱点の克服を図る目的に、8月16日から19日までの日程で、栗原市教育研究センターを会場に開催し、中学校1年生から3年生95名の申込がありました。講師として協力をいただいた宮城教育大学の学生は、18人で延べ52人に指導を頂きました。授業の内容は、1年生及び2年生は宮城総合教育センターが公開している「みやぎ単元問題ライブラリー」の演習問題、3年生は平成28年度及び平成29年度の高校入試問題を行い、学生が解答の導き方や課題克服のための解説を行いました。また、生徒が自主的に問題集を持ち込み、積極的に学生に教えを乞う姿勢が見られました。学習内容は、生徒からは好評で、「分かりやすく教えてもらった」、「予習・復習ができ有意義だった」、「分からなかったところを丁寧に教えてもらった」などの意見が多く、1・2年生は「来年もまた来たい」との感想が寄せられ、また学生からも「貴重な体験で、大変勉強にな

った」「教える楽しさを再確認した」などの意見があり、学生にとっても効果があったものと思われ、大学側からも評価を受けております。以上でございます。

文化財保護課長 文化財保護課から、くりはら遺跡発掘展についてご報告いたします。定例会資料（追加）の4ページをお開きください。この事業は、平成28年度に当課が行った埋蔵文化財の発掘調査の成果について、一迫埋蔵文化財センターの企画展として開催し、広く市民に市内の埋蔵文化財をとおして栗原市の歴史を知っていただけるよう開催したものです。昨年度から始めたもので、小・中学校の夏休みに合わせ今年度は7月25日から8月27日まで一迫埋蔵文化財センター1階ホールで開催いたしました。開館日数は29日で、観覧者数は116人でした。今年度は、広報紙7月16日号3ページ「市内の情報カレンダー」への掲載と「安全安心メール」での配信によるPRを行いました。観覧者数は昨年と比べて25人の減となりました。来年度はPR方法を検討し観覧者数を増やしたいと考えております。5ページ以降は、今年度の展示のパンフレットです。後ほどご覧ください。以上で、説明を終わらせていただきます。

佐藤教育長 資料12ページの全国中学校体育大会のところで、栗原西中女子ホッケーとありますが築館中に訂正願います。

ただいまの報告にご質問等ありますか。

笠間委員 英語でキャンプは女子が多いようですが、英語でチャレンジも女子が多かったのでしょうか。男子13名、女子27名でございました。

佐藤教育長 他にご質問等ありますか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 それでは、各課報告を終了します。

では、「その他」ですが、何かありますか。

笠間委員 先日、登米で歯科医師会の講演会がありました。よく、食事のとき高血糖にならないように野菜から食べましようと言われていますが、それを学校給食で取り入れることにより、子どもは知らないうちに良い食習慣が身に付き、成人病、肥満、虫歯の予防とともに親への波及効果が得られるというものでした。ご検討いただければと思います。

佐藤教育長 現在、給食のときこのような指導はしていますか。

小野寺次長 確認いたします。

佐藤教育長 他にありますか。

「なし」の声あり

佐藤教育長 それでは、その他を終了します。

14. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成29年第8回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後16時10分

15. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第37号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

議案第38号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について

議案第39号 栗原市就学指導委員会に対する諮問について

議案第40号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出について
議案第41号 栗原市社会教育委員に対する諮問について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成29年9月27日

会議録署名委員 _____

〃 _____